

# 「株式会社 姫路シティFM21」

## 第 62 回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 平成27年11月28日(土曜日) 午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 イーグレひめじ地下2階 ミーティングルーム

### 3. 出席状況

1)委員総数 7名

2)出席委員数 4名

3)出席委員の氏名(敬称略、順不同)

大谷 昭仁 岩田 稔恵 大野 幸一 衣笠 愛之

4)欠席委員の氏名(敬称略、順不同)

大井 義雄 岸田 直美 宮本 節子

5)会社側出席者氏名

寺尾 雅晴 (専務取締役 放送局長)

石本 康二 (常務取締役 営業部長)

小幡 博 (営業企画課 課長)

### 4.議題

#### 1)事務局説明

- ・ 放送局長より挨拶

#### 2)試聴

- ① 夕方交差点GENKIもって来い！(月～金曜日 午後4時～午後6時30分)内  
ゲストコーナー(午後4時15分～午後4時25分) 2015年10月30日(金)放送分
- ② ミュージックプロムナード(第1・3・5週水曜日 午後7時～午後8時、翌日午後3時～  
再放送)2015年11月18日(水)放送分

#### 3)資料説明

- ① 平成27年9月～平成27年11月の取り組みについて
- ② 平成27年12月以降の取り組みについて

#### 4)意見交換

【試聴番組:ゲストコーナーについて】

A委員 一般客がスタジオ前で観覧したということだが、どのくらい来たのか？

事務局A 15人くらい来ていた。事前告知でした方と、放送中にやってきた人がいた。  
紀里谷監督は、たくさん写真を撮ってアップしてほしいという話だった。

A委員 映画館との協力関係は？

- 事務局A 月1回、生出演していただいている。舞台挨拶などの場合は、司会を派遣させていただくこともある。姫路の映画館もアースシネマズさんだけになるので、関わっていきたい。
- B委員 スポンサーにはならないのか？
- 事務局A 基本的には取材対応である。
- A委員 司会の手配ということはできるのか？
- 事務局A イベント司会として依頼される場合も多い。ただし、姫路市のイベントは広報推進委員が担当することも多く、なかなか入ることができない。夢前スマートインターチェンジも開通式典は受託したが、司会については広報推進委員が担当した。
- A委員 スマートインターチェンジについては、県域局の有名なDJが来た。来場者も多かった。
- 事務局A 主催者からFMゲンキパーソナリティのPRもしてよいということをお願いする場面も多い。パーソナリティが司会としていくと、事前・事後に自分の番組内でPRするため、メリットも多い。
- A委員 県域局として若手の歌手を育てようというプロジェクトがあり、夢前町の歌を作ってくれた。FMゲンキでだれか育てようという歌手はいないのか？
- 事務局A いない。地元のバンド活動をしている若者などはゲスト出演してPRする場所を用意している。太子町のあすかホールと連携したイベントを夏に実施し、決勝出場者がゲスト出演することもある。
- A委員 駅前で歌っているミュージシャンも多い。
- 事務局A 駅前広場の事務局が管理している場所は問題ないが、路上ライブの人たちは許可を得てない可能性がある。駅前の広場は申請がすれば使える。先々までスケジュールが埋まっているようだ。
- A委員 いきものがかりなどは路上ライブから出てきた。夢があってよい。
- 事務局A ゆずなども百貨店の前で歌っていたので、そこが聖地になっている。
- A委員 局長がそこにいて、スカウトして来ればよい。
- 事務局A FMゲンキとしては、ラジオは一般の人が聴いているので、クオリティの問題がある。だれでも良いというわけには、いかない。
- C委員 高校生など、学生がよく見学しているようだ。
- 事務局A FMゲンキでもかつてヤマハとタイアップしたコンテストもしていたが、予算等の関係で縮小されてきた。

【試聴番組:ミュージックプロムナードについて】

- C委員 どこで録音しているのか？
- 事務局A FMゲンキのBスタジオで収録している。
- B委員 スポンサーはつかないのか？
- 事務局A 聴く人がお金を出すととは限らない。
- C委員 スポンサーがないとしたら、どうやって費用を工面しているのか？
- 事務局A FMゲンキの持ち出しである。

- C委員 パーソナリティの三浦氏は、キャスパホールでイベントをされているのを知っている。
- 事務局B CDコンサートやジャズストリートなどの司会をされている。FMゲンキのほかにもラジオ関西や宝塚のコミュニティFMでも番組をされている。
- C委員 音楽だけでなく、時事の話題なども取り上げられている。
- 事務局B 当日の昼間に収録しているので、新しい話題にも対応できている。ベテランなので、時事ネタも取り入れている。
- A委員 コミュニティFMという規模であれば、応援するとしたら1,000円ずつぐらいで応援することはできないのか？
- D委員 浅く広く集めたらよい
- A委員 今後の課題として取り組むべきだ。
- 事務局B 他局の事例として、会員制を取っているところもある。ただし、事務コストがかかる。発行物の経費や人件費を考慮すると、難しい。
- 事務局A 放送料金はラジオ局として死守しないといけない。既存スポンサーもあるので容易に変更はできない。
- 事務局B 県域局に比べるとコストは安いですが、コミュニティFMは全国にあるので複数局を束ねたCMなどの依頼もある。観光関連であれば、FMゲンキを経由して京阪神のコミュニティFMで放送するという場合もある。他局から依頼される場合もある。しかし、規模によって価格もさまざま。あまりにも当社の価格と乖離している場合は、受けることができない。

## 【自由意見】

### (観光について)

- D委員 ホテルの空室、駐車場の混雑情報などの情報も発信するべきだ。姫路に来る人は神戸～岡山で探しているという話を聞いたこともある。神戸や岡山のコミュニティFMと連携して、情報をながすことはできないのか。
- B委員 最近は姫路に宿泊するという人も増えていると聞いている。しかし、食事をするところがないという意見が多いようだ。
- D委員 そういった情報を流すからスポンサーに、という話もできるはずである。
- A委員 FMゲンキにはさまざまな情報が集まっているが、放送で流すのはほんの一部ではないかと想像している。SNSなども普及しているので、WEB関連にも力を入れる必要があるのではないかな？
- D委員 若い世代は、SNSなどを情報源にしている。
- B委員 常にある場所にアクセスしたら、あの情報がわかる・・・という状況になればよいのではないかな。
- 事務局A FMゲンキのページの中でも、姫路のイベント情報は特に人気がある。
- 事務局B 観光担当の話では、中国人観光客はバスで動いている。欧米からの観光客は少人数で移動している傾向にあるそうだ。

### (放送業務について)

- B委員 放送の信頼性ということが言われている。FMゲンキではどのような体制で取り組んでいるのか？
- 事務局A 放送事故をハード面で防止するためのシステムやソフト面で対処するためのマニュアル・教育なども実施している。開局時はトラブルも多かったようだが、現在は大きなトラブルもなく安定している。
- A委員 最近、新しいお店が続々と増えている。情報を発信したいところも多いと思う。パーソナリティで食通の人がいれば、その人がリポートをすることで、スポンサーになってもらうということはどうなのかな？
- 事務局A 「ふれあいリポート79.3」というコーナーでは、毎週生中継でお店を紹介している。
- C委員 知らないことを知ることができたり、遠くのことを近くに感じる放送ができるのが、コミュニティFMのよいところだ。

(防災訓練について)

- C委員 防災訓練で放送をしているのを見たが、同時に複数の訓練が行われていたのだから、かなりの音が行き交っていた。放送上は大丈夫だったのか？
- 事務局B 放送上は、マイクの向きの音だけがはいるので、リポーターの声が聞き取れないという状況ではなかった。当日は、ラジオでも放送するリポートと、会場内でのみ流れている現地リポートのために、スタッフを派遣した。スタッフ自身も現場の雰囲気をつかむことができたので、よい学びになったと思う。

【事業報告等に関する意見】

午後3時、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

公表年月日 平成27年12月10日

公表内容 審議の概要

公表方法 事務所据え置き、ホームページ(<http://fmgenki.jp>)

自社放送内「FMゲンキからのお知らせ(平成27年12月13日午後3時45分)」

以上